

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

防府市地域公共交通活性化協議会 地域公共交通計画(地域間幹線系統)の概要

協議会の構成員

- ・防府市 ・山口県 ・中国運輸局山口運輸支局
- ・学識経験者 ・地域公共交通の利用者等(自治会、老人クラブ、障害福祉団体、市民代表)
- ・公共交通事業者等(防長交通(株)、JRバス中国(株)、西日本旅客鉄道(株)、(有)野島海運、(一社)山口県タクシー協会、山口県交通運輸産業労働組合協議会)
- ・道路、港湾管理者(山口河川国道事務所、防府土木建築事務所、防府港務所) ・防府警察署

協議会の開催状況

4 回 (うち書面審議 3 回)

【事業の目的・必要性】

- ・防府市の人口分布と高齢化の状況を見ると、防府駅を中心とした中央部に人口が集中し、周辺部は中央部に比べ人口が少なく、高齢化率が高くなっている。
- ・路線バスについては、自家用車の普及や新型コロナウイルス感染症、また昨今の物価高騰等の影響もあり、公共交通の利用者は伸び悩んでおり、厳しい経営状況に直面するバス事業者において、事業の継続に向けた取り組みは喫緊の課題となっている。ただ、学生、高齢者や障害者などのマイカーを持たない、あるいは、利用することができない人々にとっては、社会生活をおくるにあたり、安全・安心・快適な交通手段の確保・維持は極めて重要である。
- ・防府と近隣の山口市・周南市を連絡し、通勤や通学、買い物や通院など、先述した公共交通を必要とする人々の日常生活での広域移動に必要な不可欠な路線となっているが、自治体や交通事業者の努力のみでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業を活用し、運行を維持することが必要である。

【事業の区域】

- ・防府市全域

【事業の目標と効果】

- ・生活交通路線を維持していくため、関係市町と連携し、地域住民のニーズに沿ったダイヤ設定や利用実態に即した効率的なダイヤ編成をすることで、利便性の向上及び経常収支率の改善を図る。
- ・収支改善率について令和5年度実績値から1%以上改善すること。
- ・地域間幹線バス系統を維持することにより、地域で生活する移動生活者の生活に必要な不可欠な交通手段が確保される。
- ・広域的・幹線的な系統と地域的・支線的系統の有機的な連携により、効率的な地域交通網が形成され、市民の社会参加促進や地域活性化にもつながる。
- ・定量的な事業目標を導入することにより、バス利用者の増加と効率的な運行を促進し、地域のサービス水準を維持・向上することが期待できる。

防府市

令和7年度分

事業者数

系統数

車両減価償却費
車両数

2

6

32(0)

* 車両減価償却費車両数の()は、当該年度に購入した車両数(内数)

この1年間の 利用者・地域住民の意見の反映

○公共交通会議やアンケート等で地域住民からの意見を聴取し、事業者、山口県、近隣市町と連携して、運行系統の改善・見直し等を実施

＜対応等＞

・通勤、通学、通院、買い物等に利用できる路線バスは必要不可欠な移動手段であり、また、今後の運転免許返納の増加等に対応するためにも、維持・活性化に努める必要がある。

・地域間幹線系統の維持は、コミュニティ交通との接続の面からみても最重要課題であり、引き続き利便性向上に向けた取組が必要

・利便性向上を望む声に対応するため、バスロケーションシステムの導入や、交通系ICカードの導入、及び、導入後のPRに努めている。

・地域住民のニーズに沿ったダイヤ設定や利用実態に即した効率的なダイヤ編成に努め、利便性の向上及び経常収支率の改善を図っている。

・利便性の高い公共交通の構築を図るため、バスのみではなく、あらゆる交通モードが連携し、利用者ニーズに対応している。

事業の適切性

○計画通り事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

○評価A、B、CともにR6と同水準を維持（R6 A1系統 B4系統 C1系統）

○バス利用促進の取組の実施等により、輸送量及び収支率を維持

今後の改善点

引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。

また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。

バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。

引き続き関係行政など地域との連携を図り、バスの乗り方や運行情報提供を行い、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。

○バス停上屋等の整備

路線バスの待合環境向上を図るため、交通事業者や民間事業者と協力しバス停上屋等の整備を推進する。

○バスまちスポットの開設

バス停に隣接する公共施設や商業施設等と連携したバスまちスポット(バス待合所)の開設を推進する。



バス停上屋の整備



バスまちスポット(バス待合所)

